

「納涼祭を開催します（予告）」

コロナ禍後初の全会員参加型の懇親会を広い開放感ある場所で行います！



弁ク幹事長 濱田百合子

皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。仕事は順調ですか。何か会員同士で話してみたいことはありませんか。

さて、皆さまご存じのとおり、想定外のコロナ禍により、今まで経験したことのない「自粛要請」なるものが国から出され、この3年間思うように人とのコミュニケーションを図ることができずにきました。まだまだ新型コロナウイルスに対する警戒は必要ですし、またその考え方や対応の仕方も人それぞれではありますが、徐々にコロナ禍以前の生活に戻りつつあることは確かです。連休明けの5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけも、いよいよ季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられ、これからは模索しつつもアフターコロナに向けて社会全体が動き出していきます。

そこで、弁理士クラブ（弁ク）におきましても、会員同士のコミュニケーションを広げる場として、「納涼祭」を企画実行することと致しました。7月下旬の平日夕方（候補としては、7月19日(水)又は26日(水))に、簡単な屋根ついた空間の開放されたバーベキュー会場で、若手からベテランに至るまで懇親を深めようというものです（まだ企画の段階ですので、予告ということでお願います）。

この3年間、自分たちの気づかない場面も含めて、いろいろな社会変革が起こっています。もちろん良い面もあれば、本来の良さが失われた面もあると思いますが、とにかく、まずはコロナ禍後の新たなコミュニティの構築を模索していくべき時期と考えています。

今年は、オンラインと対面の良い面をそれぞれ取り入れ、両者のバランスをみながら、どのようなやり方が全会員にとって最大公約数的に望ましいものであるのか、対面による予算増大という課題とも向き合いながら、トライしていく年と考えています。

皆さんもせっかく弁ク会員として登録していただいているのですから、弁クという組織とのかかわりや弁ク会員同士とのかかわりを積極的に構築していきませんか。いつの間にか職場とその周辺だけのコミュニティになっていませんか。納涼祭が、閉塞感を少しでも和

らげ、会員相互のコミュニケーションを広げるための一助となれば幸いです。

全会員に向けての納涼祭というイベントは初めての企画ですので、どの程度の規模になるのか予想がつきにくいところもあり、とりあえずは参加者の上限値を設定しつつ実費での参加と考えていますが、申し込まれた方の人数や年代等に応じて適宜会費も設定していると思っています。場合によっては寄付をお願いするかもしれませんが、現時点では流動的ではありますが、交通の便がよいところで、飲み物代を入れて5000円から8000円の範囲になるようにと考えています。

納涼祭は、組織としても、そして個人としても、弃クの活動をより有意義なものにしていくトライアルと捉えていますので、ぜひ皆さんの積極的な参加をお待ちしています。お知り合いがいなくても大丈夫です。

詳細が決まり次第、皆さんに改めてアナウンスさせていただきますので、どうぞ前向きな検討をよろしくお願い申し上げます。